

令和7年度 第3回 浜松市立神久呂中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月10日（火） 午後2時30分から午後4時まで
- 2 開催場所 浜松市立神久呂中学校 大会議室
- 3 出席委員 池谷 昭広、谷井 文明、池谷 友美子、伊藤 直樹、
松田 友秀、中山 清春、古橋 律子
- 4 欠席委員 宮澤 俊英、中居 丈幸
- 5 オブザーバー 竹本 澄生（神久呂協働センター所長）
- 6 学 校 小林 貴道（校長）、吉春 雅子（教頭）、高野 雄太（教務主任）、鈴木 義典（CS担当）、
小林 正樹（3年学年主任）、八嶋 志帆（CSディレクター）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍 聴 人 1人
- 9 会議録作成者 CSディレクター 八嶋 志帆
- 10 議長の選出

前回の会議で、次回は松田 友秀委員にお願いするということで承諾をいただいております、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校評価
- （2）令和8年度学校運営基本方針
- （3）学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

司会の鈴木義典先生から、委員総数9人のうち、7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

会議の前に、委員の皆さんに授業を参観していただいた。また、3年主任の小林正樹先生から、3年生の面接練習（1／23実施）の報告と御礼があった。

（1）学校評価

議長の指示により、教務主任の高野先生から、学校評価のアンケート結果に基づき、スライドで結果をまとめた表を見ながら詳しい説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・地域の行事に参加している子が増えているのはいいことであり、地域のためでもある。（池谷会長）
- ・目標を持つ生徒が少なくなっていると、面接練習で実感した。（池谷会長）
- ・ボランティアに複数回参加できている子がいて感心する。引き続きそういう面も伸ばしていきたい。（松田委員）
- ・普段から親子で会話をし、目標を見つけていければと思う。（松田委員）
- ・面接練習で、目標をはっきりしない子が多いと感じた。少しでも目標があれば、やりがいを感じるのではないか。（池谷友委員）
- ・家族にも言えない、相談しづらい、不確かな不安がある。（池谷友委員）
- ・昔に比べて、生活があたりまえにできている今の中学生は将来に危機感がない。（伊藤委員）
- ・子供達に自己肯定感があることは嬉しく思うが、相談できる相手は少ないように思う。（古橋委員）
- ・自治会活動の防災訓練は、去年に比べて今年は中学生の参加が多くてびっくりした。（中山委員）

- ・昔は外で遊ぶのがあたりまえだった。今の中学生は勉強が忙しいのか分からないが、異年齢との関係はどうなのか気になる。(中山委員)

(2) 令和8年度学校運営基本方針

議長の指示により、校長先生から別紙資料に基づき、令和8年度の学校経営案やランドデザインなどの詳しい説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・来年度発達学級が新設される。以前はその地域にないとよその学校へ行くことになり、地元の学校へ行っていないと疎外感が生まれたが、よそ者感無く地域の行事に参加しやすくなる。(池谷会長)
- ・発達学級ができることによって、誰一人取り残されない環境、自分の居場所ができる。(松田委員)
- ・中学生は、子供が一番成長する時期。部活動が減ってしまうので二大行事(合唱コンクール・体育大会)で自己主張を育ててほしい。(谷井委員)
- ・神久呂ファミリーとして学校・地域が互いに興味を示して協力・支援していき、神久呂中をみんなで盛り上げていければと思う。(池谷友委員)
- ・秋祭りなど、小さいお子さん親子が参加しているイメージで、中高生が少ない。ゲームばかりで外に出る子が少ない。学校でも地域行事の案内をしたら少し変わるだろうか。(伊藤委員)
- ・2年生の職場体験の掲示物は、それぞれが自分の言葉で伝えようとしていた。(古橋委員)
- ・目標を作るのは難しいが、周りに素材はたくさんあるので興味を持っていけば目標につながるのではと思う。(古橋委員)
- ・学校は安心安全で生徒一人ひとりの居場所。授業で活躍できる子もいれば、行事、部活、清掃などの生活面で活躍できる子もいる。毎日でも週一でも月一でも先生にほめてもらえる機会があるといい。地域でも、地域のリーダーがほめてあげて地域とふれあっていく。地域移行の部活も上手く学校と連携していけたらと思う。(中山委員)

学校運営方針の基本方針について拍手での承認を諮ったところ、出席委員全員の拍手があり承認された。

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、池谷会長から「学校運営協議会の自己評価」について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・部活動の地域移行を、部活動そのものが衰退しないようにどう地域と連携していくか。(松田委員)
- ・職場体験等あれば、次年度はより一層情報発信をしていきたい。(谷井委員)
- ・発信についてはなかなか大変なところがある。ボランティアで生徒と関わり、生徒の実際の様子がよく分かるが「こういう活動があるよ」という発信をして皆さんに伝え、皆さんに知っていただきたい。(池谷友委員)
- ・CSの取り組みについて小学校とかなり温度差があるように感じる。授業の支援においても小学校の方が入りやすく、子供を見る機会が多い。(伊藤委員)
- ・情報発信は個人ではほとんどやっていないが、「さくらアプリ」が来るとパッと開きたくるので関心があるということだと思う。(古橋委員)
- ・誰にどのように情報発信していくかを、最初から常に意識していく必要がある。(池谷会長)
- ・情報発信はHPにしても何にしても見るのが苦だが、「さくらアプリ」は見るようになった。保護者・生徒・地域への発信は工夫が必要。地域でも回覧板をなくそうという動きがあるが、紙面が

いいという人もいる。(中山委員)

- ・ 今後、地域クラブへ移行した時、学校は生徒の動きをどう把握するのか、生徒はどうなっていくのか。(中山委員)

その他連絡事項

- ・ 教頭先生より、夢育やらまいか事業についての説明と、卒業式・入学式の御案内があった。
- ・ 司会から、令和8年度の学校運営協議会の開催予定の提案があった。次回令和8年度第1回の会議は、令和8年5月21日(木)午後2時30分から大会議室で開催する旨の報告があった。